

プロ野球交流戦観戦のことなど

上原 昇 (2組)

6月に入りプロ野球はセ・パ交流戦で対戦中である。筆者は14日(水)の夜、巨人(セ)対西武(パ)戦を観に東京ドームへ出向いた。いまどき、プロ野球を見るのは爺さん族中心かと思いきや、コロナも明けて老若男女、外国人も含め大勢が集まり、東京ドームは4万人超の大盛況。筆者は、2005年から始まった交流戦を球場で観るのは初めてだ。

試合は巨人の完勝。巨人先発の戸郷は悠々、リーグトップの8勝目を挙げた。(写真)

巨人キャプテン岡本の16号本塁打、巨人一塁手中田の通算1500安打達成など、巨人ファンにはビール的美味い一夜となった。

野球といえば3月21日、ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)2023優勝の興奮が忘れられない。

その後のペナントレースや米国MLBでもWBC選抜選手(侍)の活躍が目立っている。

巨人でも前述の戸郷、岡本に加え、WBC侍の大城捕手、大勢投手も自信をつけたようだ。

WBCの話題では、ドキュメンタリー映画『憧れを超えた侍たち 世界一への記録』が公開中で筆者も映画館に観に行き、大スクリーンであの感激を再度味わった一人である。

6月16日からTOHOシネマズ上田でも上映されるので、地元の諸氏も劇場へどうぞ。

プロ野球も既に60試合ほど消化して、これから夏に向け更に激しいレースが繰り広げられることだろう。当HPでも紹介している長野県出身のプロ野球選手の中では、やはりWBCの若侍、牧秀悟選手(中野市出身、横浜DeNAベイスターズ)の活躍が目立っている。

6月14日現在、牧選手は打点40でセ・リーグトップ、本塁打も11本で2位、打率.293は12位と大健闘だ。他の選手たちも頑張っていて欲しいものだ。



セ・パ交流戦で好投する巨人の戸郷投手

(2023年6月15日記)

以上